

# 災害を乗り越えてきた90年

# 神戸電鉄新聞

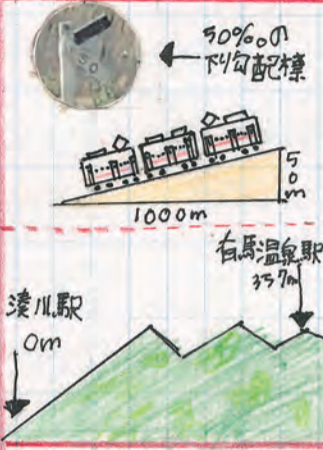
発行日 2018年 8月  
 発行者 神戸市立花山小学校  
 6年 永井佑樹



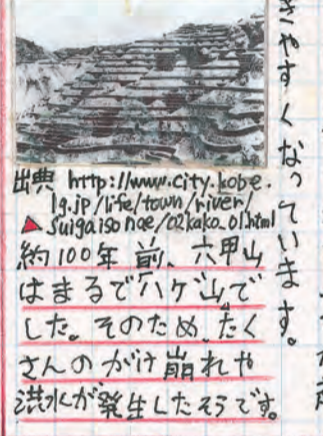
## 神戸電鉄の登山鉄道？

ほとくの町には、神戸電鉄が走っています。神戸都心部から六甲山を走り抜け、神戸市北部、三田市、三木市、小野市を結ぶ、69.6kmの鉄道です。今年、90周年を迎えた神戸電鉄ですが、これまでたくさんの方の災害にあり、復旧を助けてきました。

六甲山は931mです。淡川駅が0mで、有馬温泉駅が577mなので、淡川駅から有馬温泉駅の標高差は577mあります。最急勾配は、50%（パーセント）です。50%とは、1000m進むと50m登り下り、つまりこのことを表しています。



六甲山は、風化した土が崩れやすい花崗岩からできています。崩れやすいため、山崩れが起これば、また、六甲山は湿った風が山にぶつかると、局地的な豪雨が降りやすい特徴があります。そのため、土砂崩れや地すべりが起きやすくなっています。



## 神戸電鉄 過去の水害震災データ (抜粋)

### 1938年7月4.5日 阪神大水害

断続的に降り続いた激しい雨により、土砂崩れが起これ、脱線、転覆などの被害を受ける。

### 1995年1月17日 阪神淡路大震災

526「兵庫県南部地震発生により、全線ストップ。各社で路盤陥没、線路歪曲、法面崩壊など、大きな被害を受ける。



出典 [http://www.city.kobe.lg.jp/safety/disaster/flood/flood03\\_01\\_45.html](http://www.city.kobe.lg.jp/safety/disaster/flood/flood03_01_45.html)

### 2010年5月24日 大雨

8.45 前線を伴った低気圧の影響で法面崩壊、山の街駅〜箕谷馬尾間の線路を土砂が覆う。

### 2011年9月21日 台風15号

7:15 鈴蘭台西口駅から鈴蘭台駅を走行していた普通電車が、土砂崩れを見つけ急停止したが、先頭車両が土砂の上に乗上げた。

### 2014年8月10日 台風11号

10:30 全線で運行を停止した後、有馬口駅〜岡場駅間、有馬口駅〜有馬温泉駅間の2区間で線路下の土砂流出を発見。

▶▶▶ 近年、気象状況の変化により、大雨が起これやすく、土砂災害も増えているそうです。



24日の夜中に花山駅〜大池駅間の法面が崩れていて、崩れた所の大きさは横20m、高さ15mです。線路下の土も流れ出し、電車が浮いた状態でした。

## 2018年8月24日 台風20号 花山駅の大池駅 土砂崩れ発生!!

各地に被害をもたらした台風20号により、神戸電鉄も大きな被害を受けました。ほとくの家の近くでは、大きな土砂崩れが発生し、線路の下の土も流れてしまいました。火害についても調べている時に起これてしまったので、復旧までの経過を毎日観察することにしました。

8月25日 発生2日目

8月26日 発生3日目



たまた2日で復旧工事完了!! すげえ!! 神戸電鉄!!

25日の夜に神戸電鉄のホームページに、26日の午前中に復旧するとの発表があり、とてもおどろきました。この日、走る電車を見てすごうれしかったです。

## 災害対策 Q & A

神戸電鉄技術部 織田さん、高野さんにインタビュー

**Q** 災害に備えていることはありますか？  
**A** 近年の発生する集中豪雨に備えて、順次法面や橋梁の補強をしています。まずは、想定できないところが崩れることが多いため、また、大規模災害や事故を想定して、情報伝達、避難誘導、車両脱線の復旧訓練など、さまざまな訓練を実施しています。

**Q** 台風、大雨が予想される時は、  
**A** 線路の側溝つまりがないか点検したり、沿線の木や竹をば、採り取ります。また、係員が危険な所につかれて待機しています。

**Q** 実際に土砂崩れがある時の、  
**A** 今回の台風20号の時では、夜中の2時半ぐらいに警報から通報がありました。崩れた場合は、土のうなごを積んで応急復旧をします。復旧までは24時間工事を行います。土砂崩れなどを発見するためには、作業員60人くらいで、夜中に徒歩で巡回して、各地安全点検をします。

**Q** 地震が起きた時の対応は  
**A** 阪東4以上の揺れや、緊急地震速報がでたら、全線止め、安全確認しながら、除行運転で安全な場所まで移動します。

**編集後記**  
 今回ばかりは、神戸電鉄が災害に備えてきたことを知りました。今までも多くの災害にあい、それを乗り越え努力を続けていることがわかって、良かったです。ほとくは、そんな神戸電鉄が、お話を聞かせて下さった、神戸電鉄の織田さん、高野さんありがとうございました。